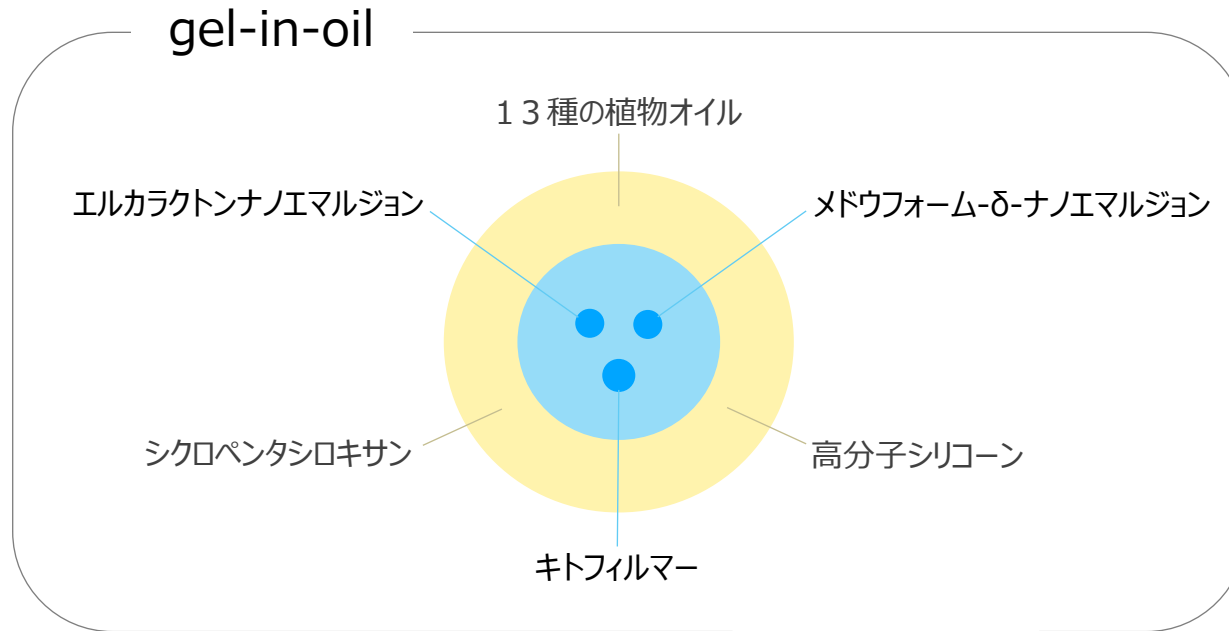
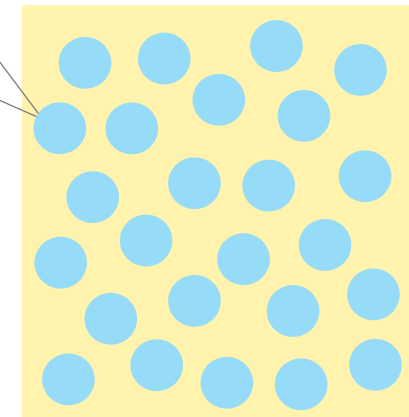


ミーミル ギアフォース



キトフィルマーやナノエマルジョンを含む〈gel〉をオイル成分が包んでいる。
サンオイルで採用されているW/Oミルクと同様の作用を持つ。
オイルが髪に直接作用します。
同時に
gelに含まれるキトフィルマーが髪の表面に吸着し、ナノエマルジョンが髪に浸透。



エルカラクトン（γ-ドコサラクトン） ナノエマルジョン	ナノエマルジョンなので髪の内にも浸透。 熱により髪と作用し、髪を内から疎水化する。
メドウフォーム-δ-ラクトン ナノエマルジョン	熱により髪と作用し、キューティクルの表面の凸凹をカバー。 熱により髪と作用し、髪を内から疎水化する。
キトフィルマー	キューティクルの表面の凸凹をカバー。
13種の植物オイル（次ページ）	髪にゆっくり浸透し、内からしっとり。
高分子シリコーン （ジメチコン、ジメチコノール）	サラサラ指通りがよい。
シクロペンタシロキサン	サラサラ指通りがよい。
ジポリヒドロキシステアリン酸PEG-30 & （アクリルアミドプロピルトリモニウムクロリド／ア クリレーツ）コポリマー	ソフトでシルキーな使用感を持つ高内水相のW/O型エマルジョン 水性ジェル相を油相で包み込んだ“gel-in-oil”

13種の植物オイル

	ブドウ種子油（グレープシードオイル） ブドウの種から採れるオイルで、リノール酸やオレイン酸などの必須脂肪酸やポリフェノール、ビタミンEが豊富に含まれている。		ホホバ種子油 アメリカ南西部に自生する植物ホホバの種子から採れるワックスエステルという液状のロウ類。構造が人間の皮脂とよく似ていて、浸透力が強い。
	アルガンオイル モロッコにのみ生育するアルガンの樹の実から採油された希少なオイル。「モロッコの黄金」と呼ばれ、美や健康に役立てられている。オレイン酸とリノール酸の他に、カロテン、キサントフィル、トリテルペンアルコール、ステロールなどの微量成分も含んでいる。		ツバキ種子油 ツバキの種子から採れるオイル。古代から霊力の宿る神聖な木とされ、神社やお寺の境内に植えられており、また種子から採れる油は食用から美容まで幅広く使用される。
	ヒマワリ油 ヒマワリの種から採れるオイル。オレイン酸が豊富に含まれ、ビタミンEが豊富に含まれている。		シア脂（シアバター） シアの木の種子から採れるオイル。保湿力が非常に高く、シアの木が生息している地では赤ちゃんにシアバターを塗る習慣がある。
	マカダミア種子油 マカデミアの種子から採れるオイル。オレイン酸を約55%、パルミトレイン酸を約20%含有し、ヒトの皮脂に類似している。		アボカド油 果肉から採れるオイル。「森のバター」と呼ばれ、ギネスブックも認めた栄養の宝庫です。
	メドウフォーム油 白い泡のようなかわいらしい花をたくさんつけることからmeadow foam(牧場の泡)と呼ばれる。酸化しにくく、98%以上が長鎖脂肪酸からできているとても珍しいオイルで、薄い皮膜を形成して水分の蒸発を防ぎ、乾燥から髪を守ってくれる。		アーモンド油 ヘーゼルナッツ、カシューナッツと共に「世界三大ナッツ」の1つに数えられるアーモンドの種子から採れるオイル。古代ギリシャから愛用されていて、赤ちゃんや敏感肌の人でも使える。
	コメ胚芽油 イネの胚芽から得られるコメヌカから採れるオイル。γ-オリザノールやビタミンA・Eを含んでいる。		月見草油 種子から採れるオイル。古くから食用および医療用に利用されていた。
			カニナバラ果実油（ローズヒップ油） バラ科カニナバラの種子から採れるオイル。「ビタミンCの爆弾」と呼ばれるほどビタミンCを豊富に含んでいる。